

# 南町一丁目だより

発行日 平成24年7月1日  
発行者 南町一丁目自治会  
編集者 広報編集委員会  
電話 221-2728(谷中)

第17号

## 自治会長挨拶

平素より自治会の各種事業に対しご協力を頂き厚く御礼申し上げます。本年も「住みよい町」づくりをめざし、役員一同頑張りますので前年同様にご協力いただきますよう御願い致します。

今年は「独り住い高齢者」が安心して暮らせるよう、75才以上の方を対象に「見守り事業」を町内役員の協力により行います。また、10月から前橋全市民による「ゴミの減量化事業」が行われます。従前は可燃ゴミに古紙を含めて出した方もいましたが、今回から古紙(新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、雑古紙)に分類し、資源として別に扱うことになります。当町内では育成会が廃品回収事業を行なっていますので、今後はこの分別古紙を含めて育成会にだして頂きますよう御協力御願い致します。

さて、3月末日をもって組長の小野里高志様、草ヶ谷真弓様が退任され、後任に加藤健様、木村利枝様が就任されました。退任された方々には長年に亘り自治会活動に協力を頂き有難う御座居ました。退任者も前任者同様に御協力お願いいたします。

町内の皆様には今後とも自治会活動にご協力を御願い申し上げます。

(自治会長 田島 健司)

## 育成会の廃品回収に

## 引き続き、ご協力をお願いします

南町一丁目自治会

前橋市では、平成24年10月より全市で古紙の分別収集を実施することになりました。

ご存知の通り、南町一丁目では育成会が中心となり、古紙(新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック)等の廃品回収を継続的に行なってきています。廃品回収事業は資源リサイクル・ごみ減量に大変有効なボランティア活動であると同時に、そのささやかな収益は育成会活動の資金として役立っています。

また、廃品回収はボランティア(育成会の父母)の皆さんのが各戸まで足を運んでくださるので、私たち町民にとってもありがたいことです。この事業を絶やさないためにも、町内の皆様には引き続き育成会の廃品回収にご協力をお願い致します。

## “ウォーキングバス” 7年目の春

今年度より、生徒数の減少や下校時間の多様化によりウォーキングバスに若干の変更があった。

3時便のウォーキングバスは今まで通りだが、4時便は廃止。3時便で下校しない児童は、3時45分から4時までの間に下校することとなる。ウォーキングバスの進め方は従来どおり保護者の引率とともにに行なうが、3時便は主に1年、2年生が対象となる。

新学期の落ち着いた頃を見はからい、下校の生徒に付き添って歩いてみた。3時過ぎ、放課のチャイムが鳴ると下校の生徒が学校南門に三々五々集合。この日は1、2年生40余名と保護者5人。3時15分に出発、「桃井虹色橋」(平成22年に完成した歩道橋)を渡り、龍海院の北で東西二手に半々に分かれた。龍海院の東を巡り前女の西のあたりになると、人数は少なくなり列もばらけて長くなる。先頭から末尾まで百メートル、時間にして数分のひらきができる。ウォーキングバスの終了地点（南町一丁目のボランティアが待機する一中の北西の信号）で3人が残り、信号を渡るのを見届けて別れた。



(防災避難訓練（4月18日）の写真)

ウォーキングバスが始まって今年で7年目。ボランティアとして街頭に立ち、子どもたちの安全を見守ってきたが、この間事故や事件に遭うことなく下校の安心をサポートすることが出来たと思う。平成18年に開始し、当初16人のボランティアで出発したが、現在は14名（育成会保護者を除く）。ボランティアの最高年齢は85歳、平均年齢は74歳と高齢化が進んでいる。ウォーキングバスのあり方を再考する時期に来ていることを痛感した。

## 成年会

前会長の金子さんに代わり、4月から2年間、会長を引き継ぐことになりました池田です。

成年会（なんねんかい）では月1回の定例会を行い、会員の親睦をはかり、いろいろな情報交換を行っています。また、大きな行事では、10月の南町1丁目祭りや12月の餅つき大会などを、自治会、寿会、育成会の皆様方の御協力で行っています。

成年会も今年で21年目を迎ますが、特に南町一丁目祭りの運営を進めて行くには、なにかと人手がかかります。ぜひ町内の有志の方には入会していただき、南町一丁目祭りを盛り上げて、子供たちに楽しい思い出を作つてあげませんか！

御協力を御願い致します。

（成年会会長 池田 宏一）

## 南一寿会

(隣近所を大切に)

5月の凌ぎよい日が過ぎ、早くも入梅の季節になりました。そして、この時期を過ぎると、あの暑い夏がやって来ます。体調には気をつけて、苦しみながらも、乗り越えて行かなければと思います。南町公園の河津桜も大分葉が茂り、幹も太くなりました。健康の為、天気のいい日に散歩に出かけて見てはどうですか。大震災から 1 年 3 ヶ月余り過ぎ、この辺りは少しは、落ち着きを取り戻した感はありますが、放射能問題等で被害に遭われた方々には、長い長い毎日、苦難な生活をしている訳であります。唯々一日も早い復興と回復、また、大きな地震などが来ないよう祈るばかりです。

当寿会に目を移しますと、時代の流れで、超高齢化の波が進んで来ており、昨年度は、特別養護老人施設などに入所された方も多く、高齢者の一人暮らしも増えて来ております。孤立死もある時代、また、認知症問題等を考えると、これからは特に隣近所にも安否の確認に注意を払って頂き、利用できる制度も利用し活用していかなければと思います。

介護保険制度も発足して 12 年目、また、平成 18 年 4 月に市の地域包括支援センターなども出来ておらず、いろいろな専門知識者など、いきいきサロンのときなどに出前講座で講師としてお願いし、施設利用や介護等の勉強もして行きたいと思います。

寿会は、諸先輩方々が築いてこられた会の運営と、自治会の事業活動等には出来るだけ参加して、明るく健康な会を維持して行こうと思っております。

地域活動・健康教室・高齢者同士の趣味など、無理をしないでの、自分に似た仲間が集まる会。また、自治会役員・民生委員・保健推進員の方々にお世話になりながらの「ふれあいサロン」も毎月 10 日に有りますので、健康寿命が伸びるよう参加して、仲間になりましょう。

65 歳以上の未加入の人達には声を掛け合い、春・秋の日帰り旅行も有りますので、寿会に加入するように、促して行きたいと思います。今年も役員 9 名体制（重複あり）でおり、相談事も遠慮なくして下さい。

(寿会会長 今井 積雄)

(会長) 今井積雄、 (副会長) 狩野靖俊、 (副会長) 斎藤江美、  
(会計) 藤井久隆、 (監査) 船津英子、 (顧問) 佐藤修治、  
(1 班長) 狩野靖俊、 (2 班長) 斎藤江美、 (3 班長) 船津英子、  
(4 班長) 遊佐ミエ、 (5 班長) 荒木時男、 (6 班長) 狩野利子

## 南町一丁目子供育成会

今年度、南町一丁目子供育成会は、29名の小学生を中心にスタートいたしました。この会は、会員の団結と協力により、地区内児童の健全育成強化と地域社会の平和な生活環境を確保し、併せて会員の親睦と育成会の民主的発展に寄与することを目的としており、目的達成のために各事業を行ないます。子どもたちが地域社会の中でいろいろな人とかかわり、さまざまな活動や体験を積みかさねることで、自主性や協調性、創造性など「生きる力」を育んでくれることを心から願っています。特に、10月に行なわれる南町一丁目祭り（前橋まつり）と、1月に行なわれるカルタ大会は、ここでしかできない貴重な体験です。

未来を担う子どもたちが、懸命に取り組み、喜びを分かち合い、明日への一步を自らの力で踏みだすことができるよう、会員、自治会、寿会、成年会の皆様のご理解とご支援を、よろしくお願いします。

（子供育成会会長 佐野 真理）

## ディズニーシーに行って

今回、町内旅行で、ディズニーシーに行きました。町内の友達と行くのは初めてですごく楽しみでした。あいにくの雨でしたけれど、楽しい一日でした。

最初は、二グループに分かれて行動しました。私はショップに行って、「ダッフルバック」を買いました。その後、みんなでいろいろな乗り物に乗りましたが、中でも、ドキドキしたのが、「海底二万マイル」でした。その理由は、すごくゆれたり、大イカが出てきたり、急に暗くなったりして少しこわかったです。最後には、「ファンタズミック」というショーを見ました。

大変だった時もありましたが、すごく楽しかったです。

（5年 荒川 真由）



6月9日（土）に行なわれた育成会町内旅行

## 平成 23 年度上毛かるた大会報告

「鶴舞う形の群馬県～」姿勢を整え、前だけをじっと見据え、審判の大人も選手の子供も見守る観客も、皆がシンと静まる体育館の中、平成 24 年 1 月 15 日、桃井地区上毛かるた大会が開催されました。12月初旬から第一集会所にて、計 14 日間練習を行い、皆が本番に向けて充分に力をつけて大会に臨みました。そして練習の成果を存分に発揮した結果、高学年個人 2 名、高学年団体、低学年団体各 1 チームが、前橋市大会出場の切符を手に入れました。

1 月 29 日に行われました市大会では、高学年団体第 4 位、低学年団体ベスト 8 の好成績を残すことが出来ましたが、残念ながら県大会への出場は叶いませんでした。

しかし、礼儀を重んじ、真剣に勝負をし、仲間と協力し、郷土の文化に親しむことのできる上毛かるたを通じ、きっと学ぶことが多かったのではないかと思っています。連日の練習には、お寒くお忙しい中、自治会、寿会、成年会の皆様が子供たちの様子を見に来て下さったり、札読みやご指導をして下さったり、常に温かく、時には厳しく子供たちを見守ってくださいました。この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。また、育成会ご父兄の皆様にも、連日連夜審判や送迎のご協力をありがとうございました、誠にありがとうございました。

私事ではありますが、この春 3 年 3 か月過ごしました前橋から、地元横浜に戻りました。こちらで偶然にも板倉町出身の方から「群馬に行っていたのなら、上毛かるた知ってる？」と聞かれ、「実は息子は市大会で 4 位だったんですよ！」と自慢してしまいました。それからとても懐かしそうに上毛かるたのお話をされていました。長く群馬を離れても、子供の頃に楽しんだ上毛かるたは、遠い郷土思い出すとても大切な宝物のようです。そして我が家にとっても、前橋での大切な思い出のひとつとなりました。

(前年度育成会会長 中村美智子)



## 町内各組織

(平成24年度)

役職名	氏名	備考
自治会長	田島健司	
副自治会長	根岸貞夫	
会計	井上諄太郎	
監事	今井積雄 福島勝男	
組長1	中嶋賢一	環境美化推進委員(兼務) ノ
組長2	半田真男	ノ
組長3	三宅耕平	ノ
組長4	藤井隆	ノ
組長5	角田鍛	ノ
組長6	加藤健	ノ
組長7	木村利枝	ノ
寿会代表	今井積雄	南一サロン世話人(兼務)
成年会会長	池田宏一	
育成会会長	佐野辰正	
児童民生委員	庭野初代 中村悦子	南一サロン世話人(兼務) ノ
保健推進委員	福島廣子 山口康子 石井洋子	南一サロン世話人(兼務) ノ ノ
青少年補導委員	内田勝	
生涯学習奨励員	福島勝男	
防犯委員	庭野俊二 真柄悦二 池田宏明 船津彦	
体育推進委員	吉尾文仁 北爪尚夫 藤井勝也 谷中勝	前橋市体育指導委員 桃井地区体育協会会長
交通安全協会南町支部役員	池田宏一 半田紀代美 今井和子 狩野靖俊	
カメラクラブ会長	今井積雄	
グラウンドゴルフクラブ会長	田島健司	
副会長	北爪尚夫	
カラオケクラブ会長	北爪尚夫	
ゴルフクラブ会長	真柄悦二	
1号公園愛護会会長	今井積雄	
副会長	北爪尚夫	
副会長	谷中勝	
副会長	吉尾文仁	
副会長	池田宏一	
町内だより編集委員	福島勝男 谷中勝	

## 行事計画（平成24年4月～25年3月）

行事等		関係団体
4月	愛護会役員公園清掃（1日） 南一いきいきサロン（10日） 廃品回収（15日） のびゆく子供のつどい（29日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 育成会、体育推進委員
5月	町内各組自宅周辺清掃（6日） 南一いきいきサロン（10日） 桃井地区市民運動会（20日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、育成会
6月	1号公園町内全組清掃（3日） 育成会旅行（9日） 南一いきいきサロン（10日）	1号公園愛護会 育成会 児童民生委員、保健推進委員、寿会
7月	「南町一丁目だより」発行（17号） 1号公園町内全組清掃（1日） 廃品回収（1日） 南一いきいきサロン（10日） 桃井地区スマイルボウリング大会（22日） 篠笛練習（～日） 町内ラジオ体操（下旬）	編集委員 1号公園愛護会 育成会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、育成会 祭典実行委員会（成年会、育成会） 育成会
8月	1号公園町内全組清掃（5日） 粗大ゴミ搬出（12日）	1号公園愛護会
9月	1号公園町内全組清掃（2日） 南部地区グラウンドゴルフ大会（日） 南一いきいきサロン（10日） 敬老祝賀会（17日） 寿会日帰り旅行（日） まつり囃子練習（～日） 祭り広場清掃（23日） 廃品回収（23日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（23日） 祭り準備（30日）※テント張り他	1号公園愛護会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ 児童民生委員、保健推進委員、寿会 寿会、成年会、育成会 寿会 祭典実行委員会（成年会、育成会） 祭典実行委員会、愛護会役員 育成会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会 祭典実行委員会
10月	まつり囃子練習（～日） 南町一丁目祭り／前橋まつり（6、7日） 南一いきいきサロン（10日） 1号公園町内全組清掃（14日）	祭典実行委員会（成年会、育成会） 祭典実行委員会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 1号公園愛護会
11月	愛護会役員公園清掃（4日） 南一いきいきサロン（10日） 町内組別対抗グラウンドゴルフ大会	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ
12月	愛護会役員公園清掃（2日） 南一いきいきサロン（10日） 「南町一丁目だより」発行（18号） 廃品回収（16日） 町内餅つき大会（16日） 生け花講習（生涯学習）（28日） 上毛かるた練習（～日）	1号公園愛護会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 編集委員 育成会 成年会、寿会、育成会 生涯学習奨励員 育成会
1月	南一いきいきサロン（10日） 上毛かるた練習（～日） 桃井地区上毛かるた大会（日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 育成会、体育推進委員
2月	南一いきいきサロン（10日） 味噌造り講習会（生涯学習）（中旬） 廃品回収（17日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 生涯学習奨励員 育成会
3月	南一いきいきサロン（10日） 長寿会日帰り研修（日） 観桜町内グラウンドゴルフ大会（日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（24日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会

## 「震災を風化させない」

### 市民ボランティア活動集会に参加して

東日本大震災の市民ボランティア活動集会が、4月21日（土）前橋市総合福祉会館で開かれました。震災発生から一年余、その間の復興活動と‘今私たちにできること’を学びに参加してきました。

第一部では、相馬原（榛東村）に駐屯する陸上自衛隊第12旅団（3500人）を率いて福島県の災害救援に赴いた武藤正美氏（一等陸佐）が活動報告をしてくれました。

相馬原自衛隊は10年以上前から宮城県沖の地震を想定し、仙台の北（塩釜）で復興支援する活動訓練を毎年続けていたそうです。今回現地では主に原発3km圏内の自力で避難できない人の避難誘導を行い、結果2400人以上の人を救出したそうです。その他水素爆発後の東電作業員の負傷者をヘリで病院へ搬送したり、沿岸部の行方不明者の捜索を昼夜を徹して行なったということです。大震災の実態と今後の課題ということで、特に震災対処における市民の果たす役割を強調していました。災害対処は初動、最初の数時間が非常に大事で、それは現地市民の行動にかかっている。日頃から防災組織をチェックしたり避難訓練を行なう必要性を力説していました。

第二部では、前橋市と災害時の協力関係にあるいわき市への市民ボランティア活動が報告されました。

市では昨年6月4日から7月9日まで毎週土曜日、6回にわたって復興支援ボランティア活動を行ないました。参加者は市職員、市議、前橋工科大生、その他の市民です。主にガレキの撤去作業を行なったそうです。その他ボランティアバスの提供など、前橋市ではこれまでに160日、延べ900人がボランティアとして参加しました。ボランティア代表の方が訴えていました。

「これから私たちにできること」、それは被災地のことを忘れないこと、被災3県の生産物を買い物で支えること、旅行で東北地方へ出かけること、寄付等々。私達一人一人の力は微々たるものですが、いつも心のどこかで被災地のことを想っていることが一番大切なことだ、とまとめました。

（生涯学習奨励員 福島 勝男）

## 町内の空間放射線量測定（全地点で基準値以下）

前橋市では、地域活動で人が集まる場所を自治会と調整し、その地点の空間放射線量を測定、その結果を公表しました。南町一丁目は、第一、第二集会所、南町公園の3箇所です。一月～三月まで、月1回から2回、それぞれの箇所の地上1m地点を測定しましたがその結果、全測定地点で国の基準値（0.23マイクロシーベルト）を大幅に下回ることがわかり、目に見える形で安心できました。例えば、第一集会所前では、つぎの表に示す通りでした。

測定日	1月24日	2月20日	3月22日
最大値	0.074	0.063	0.060
最小値	0.054	0.055	0.051
平均値	0.066	0.058	0.054

市では、1月から市内の自治会を対象に測定器の無料貸し出しを実施しており、町内でも役員の二人が測定器使用講習を受けています。希望される方は自治会にご連絡ください。

それに対して、市民の間から「自治会だけでなく、個人にも貸し出してほしい」との声があがっていました。これに対応する形で、前橋市では5月1日から、個人を対象に、放射線量測定器16台の貸し出しを始めました。貸し出しが無料ですが事前予約制。ほぼ一ヶ月先まで予約が埋まっているとのことです。予約や問い合わせは、前橋市いきいき生活課（027-898-6236）。

## 桃井地区市民運動会

5月20日（日）、久しぶりの暖かい初夏の日差しの下で、第33回桃井地区運動会が桃井小学校校庭にて盛大に行われました。町別対抗の7種目ばかりでなく、オープン参加の競技も多く、小さなお子さんから年配の方まで皆さんが楽しめたようです。特に、伝統あるパン食い競走や「目方でドン」は人気種目でした。惜しむらくは、途中で野菜や果物が足りなくなり、せっかく今年から男性にも解禁になったのに残念でした。選手、役員、模擬店担当の皆さん、ご苦労様でした。



町別対抗競技による成績順位

	団体 縄跳び	グラウンドゴルフ	綱引き	紅白 玉入れ	ボール 渡し	懸垂 運び	親子 リレー	合計	順位
紅1	80	15	0	60	40	70	80	345	2
本1	20	75	10	30	60	80	50	325	3
南1	50	55	0	20	10	10	70	215	6
千1	40	55	10	40	20	40	10	215	6
紅2	60	35	0	80	50	20	60	305	4
大1	10	35	10	50	80	50	10	245	5
大2	30	15	10	10	30	60	30	185	8
大3	70	75	10	70	70	30	40	365	1

## 春爛漫 おいらん道中（カメラクラブ撮影会）

前夜までの雨がすっかり上がり、絶好の行楽日和となった4月15日（日）、恒例のカメラクラブ撮影旅行が行なわれました。今回のメインは「花の絵巻 越後分水おいらん道中」です。昨年は東日本大震災で中止になったおいらん道中を、燕市の大河津分水桜並木まで追っかけようという企画です。

残念ながらサクラの開花が遅ましたが、抜けるような青空が広がり、「信濃」「桜」「分水」の3名の「おいらん」が絢爛豪華な衣裳に身を包み、総勢70名にもおよぶ付き人を従えて大河津分水の桜並木の下を練り歩く様子をカメラに収めました。会場は昨年と同じく8.5万人の人出でにぎわったとのことです。



葉桜に白露が残る集会所前を6：40に出発、一路関越道を北に向かいます。「国境の長いトンネルを抜けると雪国だった」、大雪にみまわれた越後の今年の春は特段に遅く、休憩に寄った湯沢・石内SAも数メートルの残雪に囲まれていました。

今井会長の駐車場事前予約が利いて、いち早く会場に着いた一行はまず桜並木の一等地を物色、確保します。喉を潤し、弁当に舌鼓をうちながら待つこと3時間、いよいよ「分水おいらん道中」時代絵巻が始まりました。

ところでなぜ新潟に「おいらん道中なのか」…。車中で会長の今井さんが説明してくれました。「日本有数の大河、信濃川・阿賀野川の河口に位置する新潟市は古くから日本海海運の拠点となる港町として栄えてきました。遊里が形成されたのもちよどその頃で、港の周辺に多くの遊女が集まっていたそうです。例えば江戸時代の新潟市の遊廓は、当時の二の町・三の町・五の町・六の町の四町にまたがっており、妓楼の数八十五軒を数えていました。廓内の妓楼は高楼の大見世が多く、遊女・芸妓のレベルもかなり高かったとか…。従って豪農巨商がもっぱらの上客だったそうです。女性のレベルの話がありましたが、なんたって越後美人ですからね。江戸の吉原では、花魁になる遊女の多くは越後出身であるという説があったとか、なかったとか…」

待つ時間が長かったせいか、「道中」はあっという間に幕を閉じ、その後一行は寺泊でショッピング散策。八海山1,788mの雪連峰大パノラマを車窓に眺めながら帰路につきました。

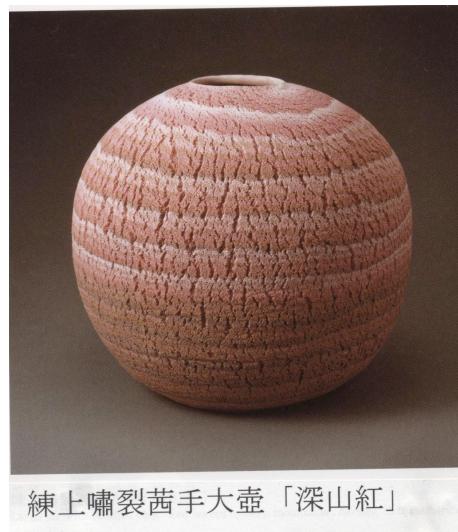
（福島 勝男）

## 寿会春の研修旅行に参加して

3月27日朝、少し冷たかったがよく晴れ風も吹かず絶好の旅行日和に参加者22名定刻より早めに集合し出発しました。

駒形インターから北関東自動車道を東に進み栃木県を横切り、笠間西インターで高速道を降り出雲大社常陸分社へ着きました。重さ6トンと言われている大しめ縄の下で参拝し、皆さん長寿を感謝しました。次は茨城県陶芸美術館の見学です、これは圧巻でした。陶芸の人間国宝と言われた先生方の壺や皿などが沢山陳列されています、中でも感動したのは松井康成先生の嘯裂（しょうれつ）という技法だそうですが、口クロでつるつるに仕上げた壺の表面に刷毛や櫛等で無数の切り込みを入れ、これを焼き上げると不思議な文様となるという物でした。鑑賞疲れしたところで美術館内に併設されている食堂で昼食です、湯葉うどんの付いた定食でしたが、精進料理風で我々高齢者には美味しく頂けました。

最後は有名な笠間稻荷神社の参拝です、昨年の大地震の生々しい傷跡の写真が展示されていました。また稻荷神社の入り口に有る筈の大鳥居は崩れ落ちてしまい、竿の先にしめ縄が張ってあるような痛々しい姿でした、また行き帰りのバスの車窓から見えるところに瓦屋根の上にブルーシートがかけられ未だ復旧されていない家々が目につき昨年の東日本大震災のもの凄さを感じた1日でした。（長寿会 藤井 久隆）



練上嘯裂茜手大壺「深山紅」



## 愛護会からのお知らせ

自治会員の皆様には、毎月の定例清掃活動などにより、1号公園の保全・管理について大変お世話になっています。1号公園の除草・清掃作業の予定を、下記にお知らせし、皆様のご理解とご協力を願いする次第です。

(1号公園愛護会会長 今井 積雄)

日付 (朝6時より)	分担	
	町内全組	愛護会および有志
7月1日(日)	○	
8月5日(火)	○	
9月2日(火)	○	
9月30日(火)	○	
11月4日(火)		○
12月2日(火)		○

## 「粗大ごみ」排出についてのお知らせ

「粗大ごみ」回収を下記の要領で行います。排出事項等をお守りいただきご協力ください。

1. 排出日時 平成24年8月12日(日) 午前8:00~午後5:30

2. 排出場所 お祭り広場(刑務所東)

3. 排出時のお願い

(1) 「家電リサイクル法」により粗大ごみとして収集できない物は絶対排出しないで下さい。

(2) 処理困難なもの(自動車関連部品、建築廃材、消火器等)は絶対排出しないで下さい。

4. なお、当日は、環境整備委員(組長)が輪番で立会うことになっています。

## 編集後記

先日、ウォーキングバスの記事の取材で、母校である桃井小学校を訪れました。一本松の雄姿と、”正直に腹を立てずに弛まず励め”的の句碑はそのままで、懐かしいというよりは『しっかり生きろ』と励まされているようで、身の引き締まる思いがしました。

父と子は同じ学び舎花明り

(編集委員／生涯学習奨励委員 福島 勝男)

またまた、半徹夜になってしまいました。編集長の慈悲で何とか生き延びることができましたが、そろそろ、若手の編集者を増やしていただけませんか。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/>

(編集委員 谷中 勝)